

志望理由書具体例

私は貴学の文学部日本文学科への入学を希望している。なぜなら、貴学は特に日本文学に力を入れた教育を行っておりからだ。オープンキャンパスに参加した際、AV機器を駆使しながら立体的に古典の世界の奥深さを解説される教授の講義に圧倒された。ここで日本文学も学びたいと強く思った。

私は中学生の頃から日本文学に興味を持っていた。特に百人一首が大好きで、毎年正月は家族で百人一首を行っていた。我が家で行っている百人一首は二十首ごとに五色に分かれていた。二十首ずつ覚えれば良いので、すぐに覚えることができた。毎年家族で取り組んでいたのも、中学校の百人一首大会で優勝することができた。百人一首の世界に魅力を感じ、もっと調べたいと思い、学校の図書館で百人一首の解説書を何冊か手に取った。そこで衝撃を受けた。同じ歌なのに、解説書ごとに解釈が違うのである。ある本では「この歌は恋愛の歌」と解釈されていた。しかし別

の本では「この歌は宮中警護の歌」と解釈されていた。「一体、どちらの解釈が本当なのだろう」と迷った。先生にお聞きした。先生は「解釈の違いを自分で調べてごらん」とおっしゃった。百人一首は一千年以上前に成立しているのだから、確立された解釈があると思っ込んでいた私には衝撃だった。同時に歌の解釈はまだ完全には決まっておらず、自分で探究していく楽しみもあるということも、この経験を通して初めて知った。もっと学びたいと強く思った。

貴学に入学することができたら、まず教授の講義をしっかりと聞き、日本文学に関する基礎知識を習得したい。そして自らの言葉で日本文学の素晴らしさを語れるようになりたい。卒業後は貴学で培った力を生かし、雑誌の編集者として日本文学の素晴らしさを発信していきたい。このような私の希望を叶える実践的な学習プログラムは貴学にしかないと考え、貴学を志望した。

◎志願理由書を書くときのポイント

志願理由書を書くときや、面接試験を受けるときのポイントは、**過去→現在→未来を1本の線でつなげる**こと

です。志願理由書を書かせる指導も面接指導も、「ロジックは一緒」です。

過去→現在→未来を一本でつなげる

